

2018/10/07 (日) 志賀山・裏志賀山・四十八池めぐり (2037m)

参加メンバー：TU、Ogi、会員外1名

毎週末の台風来襲には閉口する。今朝方、台風24号は北海道に抜け温帯低気圧に変わった。風の影響を考え今日にした山行だったが、曇り空で思ったほど良くない。台風一過の青空を期待していたが無理のようだ。志賀高原は紅葉が始まっており、車窓からは白樺の黄色、カエデやナカマドの赤が鮮やかに目に飛び込んでくる。

硯川から渋池、志賀山分岐まではゲレンデと木道で歩きやすい。渋池は朝の静寂の中、紅葉を水面に写し、趣のある風情を漂わせていた。高度を上げ志賀山に近づくとつれ一気に急登となりガスが出て来た。志賀山山頂から北信五岳と四十八池の展望が見られるはずが全く駄目ですぐに出立。少し下り裏志賀山に登り返す。裏志賀山山頂には志賀神社が祀られており、その先は行き止まり。山頂の少し先の林の切れ間からエメラルドグリーンの大沼池の絶景を期待していたのだがここもガスで全く眺望無し、がっかりである。

絶景を見られないのでここもすぐ下山開始。四十八池に向かう。急な尾根を下ると林が切れ木道となり鳥居をくぐるとほどなく四十八池に到着。霧雨状態で湿原の池塘が霞んでいる。天気が良ければとても風情のある湿原でゆっくり散策を楽しめたのだが、雨っぽくなってきたので東屋で休憩とする。東屋は雨宿りの人達で混み合っていた。山歩きでかいた汗が冷えフリースやカッパを着こんでも寒く、昼食を済ませ早々に帰路に向かう。歩き出すと寒さは苦にならず、予定より一時間近く早く車に戻る事が出来た。

登山口は曇り。天気がすぐに回復しそうにも無かったので、笠ヶ岳は中止とした。時間があるので高山村経由で雷滝を見学、お風呂に入り、紅葉を愛でながら帰路に着いた。

【コースタイム】

茅野 5:00→7:10 志賀高原 硯川 (ほたる温泉)

硯川登山口 7:30~渋池 7:55~9:10 志賀山山頂~裏志賀山 9:40~裏志賀山ベンチ~

10:20 四十八池 大休憩 昼食 出発 11:00~12:05 硯川 (ほたる温泉)

※天候悪く、志賀山、裏志賀山ともガスっており、山の写真をとるスポットが無かった。



渋池



四十八池



池塘